

# 平成17年度 第7回 北九州市地方独立行政法人評価委員会

## (議事要旨)

1 日 時： 平成18年3月28日(火) 14:00～15:45

2 場 所： 市役所庁舎 5階 特別会議室A

3 出席者：

委 員(五十音順)

・石田委員長、片山委員、城水委員、福地委員

市 側

<総務市民局>

・梅本経営企画室長、坪根経営企画室主幹 他

4 議 題

(1) 当評価委員会の評価方法等について(審議)

(2) 当評価委員会の新年度の業務について

5 議事（要旨）

石田委員長	<p>(1) 当評価委員会の評価方法等について（審議）</p> <p>前は、北九州市立大学をお招きして、大学の自己評価・自己点検について説明を受け質疑応答をいたしました。</p> <p>今回も、大学の自己評価や自己点検の方法についてより具体的な内容等について大学から説明を受ける予定でしたが、まだ、具体的に決定していないとの報告がありましたので、4月以降に改めて説明いただこうと考えております。</p> <p>今回は、これまで議論したことを踏まえ、「評価指針案」、「年度評価実施要領案」、「実績報告書」の様式についてご審議をいただきたいと思います。それでは、事務局の方から「評価指針案」について説明をお願いします。</p>
事務局	事務局より資料1についての説明
委員長	これまで議論してきたことの集約だと思います。委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。
委員	大学の進捗状況を確認するものが必要です。実績から逆算して目標を立てられても評価のしようがないのではないのでしょうか。
委員	「教育研究の特性への配慮」という観点から「教育研究に関しては専門的な見地からの評価は行わない」ということですが、客観的な進捗度の確認は行うということによろしいのでしょうか。
事務局	そうです。教育研究の中身については評価が困難ですが、中期計画の進捗状況については、確認を行っていただきたいと思います。
委員	大学運営の自主性・自律性を配慮するということですが、学長がリーダーシップを発揮しても、なかなか進まなかった場合、我々はどう評価を行うべきでしょうか。
事務局	学長がリーダーシップを発揮するのがあるべき姿ですが、それが独断専行した場合の判断が難しいでしょうが。
委員	従来、文部科学省は、国立大学について学部の意見を尊重していたが、そ

	<p>れがうまく機能しないということで、学長にリーダーシップを持たせる方向に転換しました。しかし、学内で学長の任期は短いのに、何を勝手なこと言ってるんだという意見もあると思うので、難しいと思います。</p>
委員	<p>学長がしようとする事について我々は評価せずに、しようすることがうまくいかなかった原因が組織などにある場合は、そこを指摘しなければならぬのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>これについては、共通認識を持つ必要がありますね。</p>
事務局	<p>評価の留意事項の「大学運営の自主性・自律性を配慮する」ということは、学長のリーダーシップの下に行われる大学運営に配慮するという事で整理してよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>年度評価では、教育研究については客観的な進捗状況のみを評価するということですが、計画自体について「これは早めたほうがいい」とか「そんなに長くかかるものか」などは言えるのでしょうか。</p>
事務局	<p>以前、全体の工程表についてはお話がありましたが、今現在、大学がそれを作成するのは難しいということで、とりあえずは年度計画の進捗状況で評価するしかない状況ではあります。1、2年後には、残りの年度についての工程表が作成できるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>ただ、それがないと中期計画の実施状況は、判断できないのではないのでしょうか。全部ができなくても重要なものについては、工程表が必要だと思います。</p>
事務局	<p>前回大学が示したような大まかなものはできて、刻々と状況が変化する中では、細かいことまではなかなか決められないようです。</p>
委員	<p>計画というのは、ある程度割り切って作らないと、実施状況に合わせて計画を修正するというものではないのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>そういうことに留意しながら、計画の評価も行うということだろうと思います。</p>

委員長	<p>それでは、次の議題に移ります。</p> <p>「各年度に係る評価の実施要領(案)」については、具体的に「事業実績の報告書(案)」の様式を参照しながら説明を受けた方が、理解しやすいことから、まとめて審議を行いたいと思います。</p> <p>では、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	事務局より資料2、3についての説明
委員	<p>評価指針案の評価の目的と年度評価実施要領の分野別評価の具体的方法の5つの事項は重複する部分がありますが、教育研究分野の評価が、評価の目的のどれに関連するのかが分からない。この5分野を評価することで、評価目的が達成できるというような理論武装をする必要があるのではないのでしょうか。</p>
(2) 当評価委員会の新年度の業務について	
委員長	<p>では、次の議題に移ります。</p> <p>「評価スケジュール(案)」と「新年度の業務」は重複する部分があることからまとめて説明を受けたいと思います。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	事務局より資料4、5についての説明
委員	<p>評価スケジュールについて、7、8月が大変厳しくなっています。</p> <p>後ろから日程を詰めたいのですが、市長への評価結果報告は、盆明けでいいのですか。</p>
事務局	9月議会で報告するためには、8月上旬じゃないと間に合いません。
委員	評価案を決定してしまえば、委員会の評価業務は終わりますか。
事務局	評価案について大学から意見の申し立てがあった場合、それを踏まえて評価を決定するために審議が必要になってくると思います。
委員	そうすると大変厳しいのではないのでしょうか。ヒアリング後の評価案作

	<p>成について一番時間がかかりそうなので、7月中旬にはヒアリングを終わらせないと難しいのでは。そのためには、6月下旬に大学から実績報告書が提出される段階で説明をいただきたい。</p>
委員	<p>4月末に大学の自己評価方法の説明を受け、実績報告書の様式をその日に確定し、それに基づいて大学が実績報告書を作るということによろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>今日、お示した年度評価実施要領と実績報告書案について大学で検討いただき、4月末に確定したいと思っています。</p>
委員	<p>項目毎の評価ポイントとは何でしょうか。</p>
事務局	<p>中期計画の実施状況を評価するうえで、中期計画の項目毎に評価すべきポイントを共通のものさしとして共有いただきたいと思います。</p>
委員	<p>大学が実績報告書を4月末から2ヶ月かけて作成したものを、私たちがわずか1、2週間で評価するのは厳しすぎるので、6月の評価ポイントの決定と実績報告を一緒に行えばよいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>ヒアリング項目を決めるのに時間がかかるので、できるだけ早く案の段階でいいので実績報告書をいただきたい。監査人が決算状況を確定するのは、時間がかかるかもしれないが、それ以外の実施状況については早く作成できるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>4月末に開催する委員会では、作業のボリューム等も踏まえて、再度スケジュールを提示したいと思います。</p> <p>今回が、今年度最後の委員会ですので、一年の活動の総括等を委員長にお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、委員の皆様への御礼を含め一年の総括をさせていただきます。</p> <p>平成17年4月1日に大学が独立行政法人化しました。</p> <p>当委員会は、業務方法書の認可に際しての意見表明と役員報酬基準に対する意見の申し出をおこないました。</p> <p>6月議会で市が中期目標を策定する際に当委員会は、意見を表明しました。</p> <p>7月に大学が中期計画を策定し、当委員会は、中期計画の認可に際しての</p>

	<p>意見表明を行いました。</p> <p>そして年度計画の策定・公表を受けて大学の視察を行いました。 後半は、評価の基本的な考え方、評価方法等について審議して参りました。</p> <p>それから新年度の活動ですが、 いよいよ初めての大学の年度評価を実施することになりますが、7、8月が大変厳しくなると思いますが、よろしくお願ひします。</p> <p>また、市が、財務諸表及び剰余金の使途を承認するに際して意見を表明する必要があります。</p> <p>年度評価の実施結果を踏まえ、実施要領の見直し・改善と中期目標終了時の評価のあり方についても引き続き検討を行う必要があります。</p> <p>そして、平成19年2月に私たちの任期が満了します。</p> <p>事務局 委員長、ありがとうございました。 それでは、次回委員会の日程ですが、4月26日(水)の15:00から でよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《各委員了承》</p> <p>委員長 では、これで本日の会議を終了します。</p> <p style="text-align: center;">委員会終了</p>
--	---